

平成30年度 志教育全体計画

宮城県松島高等学校

校 訓 自律・友愛・創造

本校の教育目標
1 自ら学ぶ意欲と能力を高め、社会の変化に主体的に対応できる自立の精神をもった人間を育成する。 2 勤労と責任を重んじ、平和を尊び他を思いやる友愛の精神にみちた人間を育成する。 3 自らの個性を磨き、豊かな文化を探索する創造の精神をそなえた人間を育成する。

生徒の実態，教師の願い
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、友人思いである。 ・ルールを守り、意欲的に学校生活を送って欲しい。 ・郷土愛にあふれ地域貢献活動に意欲的に取り組んで欲しい。

保護者や地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> ・充実した学校生活を送って欲しい。 ・将来、地域を担う社会人になって欲しい。 ・マナーアップを心がけ、地域とのコミュニケーションを図りながら、活躍して欲しい。 ・地域活性化に向けた取組に積極的に参加して欲しい。

「志教育」の目標
1 豊かな情操や人間性を身に付ける。 2 社会人として自立できるよう高い意識を身に付ける。 3 地域や社会に貢献できる力を身に付ける。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
様々な人と積極的に関わりを持って、コミュニケーション能力を高め、他者の意見を尊重する思いやりの心を育む。また、場に応じた適切な対応ができるようにする。	職場訪問で勤労観について実際にインタビュー等から働くことの意義を知り、その上で職場体験に取り組むことで勤労観を育み、将来のライフプランを考えさせ、その実現を目指す進路を考えさせる。	地域の中で生活していることを理解させ、地域に所属する意識を持つ。また、社会に貢献しようとする意識を高め、ボランティア精神を養い、社会で自分の役割を果たす自覚を持たせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	主体的な学習態度を身に付けさせるとともに、各教科の基礎的・基本的な知識の定着を図る。体験学習等、具体的実現的な要素を多く取り入れることで、学習意欲を向上させるとともに、現実を見る目を陶冶する。 また、地域の文化歴史風土を理解し、多様性を受け入れ変動する社会で対応できる知識や技術を身に付けさせ、地元活性化のために即戦力となる力を育成する。
道徳	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校及び社会における具体的な生活の中に活かし、豊かな心を持ち、個性豊かな文化の創造と民主的な社会及び国家の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献し未来を拓く主体性を育成するため、その基盤として道徳性を養うことを目標とする。
学習の総合的時間	進路希望に向けて調査・研究し、社会人講話や職場体験を通して将来のライフスタイルを構築する。その上で、高校生活の中で何をすべきかを考え、進路希望達成に向けて具体的な行動に移せるようにする。
特別活動	他人と協力しながら、信頼関係を築き、自分の意見や他人の意見を共有し調整できる力を養成する。また、一つの行動を継続することにより、自信を持たせる。様々な行動を通して、潜在的な能力や新たな可能性を見いださせる。
その他	毎月の頭髪服装指導を通して、身だしなみやマナーの改善を図り、主体的に行動できる生徒を育成する。遅刻指導の充実を図り、時間厳守の態度を育てる。

各学年の取組内容	
1年	① 新入生オリエンテーション合宿 学校生活及び学習内容等について理解させるとともに、高校生活の目標を設定させる。 ② 職場体験 県内の企業に協力を得て販売実習を実施する。(観光科) ③ 大学・企業訪問 大学訪問を通して進学の意義を、企業訪問を通して働くことの意義を考えさせる。 ④ 3年生から学ぶ進路別体談 ⑤ 進路説明会等の開催
2年	① 進路オリエンテーション ② 職場体験 観光科はホテル実習、普通科はインターンシップを実施し、実際の現場で仕事に従事することで、働くことの意義を理解させる。 ③ 上級学校訪問の実施 ④ 3年生から学ぶ進路別体談 ⑤ 具体的な進路希望の提出
3年	① 進路オリエンテーション ② 進路別講話及び試験対策説明会 ③ 三者面談による進路希望の確認 ④ 面接指導及び模擬面接 ⑤ 進路希望先の事前見学 ⑥ 最終進路希望先の提出と試験対策 ⑦ 観光商品開発・プレゼンテーション 開発した観光商品を実際に販売することで、購入者からのフィードバックが活かされ、社会生活での糧となり、決めた進路に対して自信を持って前向きに歩むことが出来る。(観光科)

家庭との連携
様々な場面において情報交換を図り、信頼関係の構築に努め、家庭の手伝いや地域活動へ参加することにより、働くことへの理解を深め自立を促す。

地域・企業との協働
職場体験活動や実社会で活躍する方々からの講話等から、常に地域社会と連携を図り、実社会を身近に感じながら、職業観や勤労観を養い即戦力となりうる人材の育成を図るとともに、地域の小中学校との交流活動を進める。